

東京都土地改良だより

東京の農の風景

第163号

水土里ネット東京



- 誌面の概要 -

- ・新年度のご挨拶
- ・令和8年度農業基盤整備関係予算の概要
- ・第69回（令和7年度）通常総会の開催
- ・第47回・第48回全国土地改良大会の開催
- ・「未来へつなごう！ふるさとの水土里」子ども絵画展2025 など



ホームページはこちらから

新年度のご挨拶



東京都土地改良事業団体連合会
会長 山下 奉也

新年度のはじめにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、希望あふれる新年度をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より水土里ネット東京の業務運営並びに農業基盤整備事業の推進に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年 10 月の台風第 22・23 号は、八丈町と青ヶ島村を直撃し、家屋や生活・産業インフラなど、広範囲にわたり甚大な被害をもたらしました。特に八丈町では農業関係でも農作物や栽培施設、農業基盤施設などに大きな被害がありましたが、農林水産省や東京都をはじめ、関係機関の迅速なご対応により、現在、復旧への取組を進めているところであります。

関係の皆様のご支援・ご尽力に、心から感謝を申し上げます。

東京の農業は、こうした気候変動に伴う災害リスクの増加や、農業者の高齢化、農地の減少に加え、資材や燃料価格の高騰など、様々な課題に直面しております。

農業の生産基盤に関しましては、老朽化した農道や農業用水施設の更新・長寿命化のほか、その維持管理や災害の防止・復旧を効率的に進めるためのデジタル化などが課題となっております。

国におきましては、一昨年に食料・農業・農村基本法が改正され、これまでの農業生産基盤の「整備」に加え「保全」に必要な施策を講じることが明記され、これに伴い、土地改良法も改正されました。

また、農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、関係市町村では、農地活用の将来ビジョンである「地域計画」が作成されました。この地域計画を実現するうえでは、農業基盤の整備が重要な要素となるのではないかと考えております。

こうした諸課題に的確に対応していくために、本会の果たすべき役割は大変大きいと考えております。

今後とも、東京都をはじめ会員の市町村・土地改良区の皆様と連携しながら、農業基盤整備の専門機関として、会員や農業者の皆様に、技術支援などの質の高いサービスをご提供することで、各地域の農業振興に貢献してまいりたいと考えております。

本年度も東京農業の発展に向け、役職員一丸となって業務を推進してまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年度にあたってのご挨拶とさせていただきます。

新年度のご挨拶



東京都 産業労働局 農林水産部
農業基盤整備担当課長 中屋 雄一郎

桜花の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より東京都の農業振興施策の推進にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年度は、気候変動や災害の課題が顕在化する一年となりました。高温や水不足による作物の生育への影響等が各地でみられたほか、八丈町及び青ヶ島村では、10月に相次いで発生した台風22、23号により、住宅や公共施設などに甚大な被害をもたらした。農業生産現場では、倒木による農道やパイプラインの寸断、特に八丈町末吉地区では大規模な土石流が発生いたしました。都では、発災直後から職員を現地に派遣し、被害状況の調査や災害査定への協力など支援を行ってきたところですが、まだまだ、復旧は道半ばの状況です。本年3月には、八丈町の農地・農業用施設の被害に対し局地激甚災害に指定されましたが、島の経済を支える農業の一刻も早い本格復旧に向けて、また、よりレジリエントな島の農業の復興に向け、更なる支援を展開してまいります。

例年、これまでに経験したことのない高温や少雨が記録されており、今後も予断を許さない状況が続いています。農作物の生育や作業者の健康への影響が懸念される中、農業生産現場では、遮光資材やミストの活用、空調服の着用、こまめな休憩時間の確保など、農業者の皆様の様々な工夫・対策が見られています。異常な暑さから、作物だけでなく、自身の身を守る取組も併せてお願いいたします。

都内の農業水利施設は、大半が耐用年数を経過しているほか、高齢化・後継者不足等による農家数・農地面積の減少に歯止めがかからないのが現状です。近年の災害の激甚化や頻発化を鑑みると、地域の実情を踏まえたきめ細かな基盤整備を進めることがこれまで以上に重要となっております。また、災害の未然防止や農業に対する労働コストの削減、農業用水の節水等を図るためのスマート機器導入を見据えた情報通信基盤等の整備・強化が急務となっております。都は土地改良事業団体連合会と連携を図ることで、区市町村や土地改良区等が実施する各事業のさらなる推進に努めてまいります。

都における令和8年度の農業基盤整備関係予算については、歳出ベースで約23億円となりました。今年度新規事業として、「東京の田んぼ復活プロジェクト」を立ち上げ、都民と農業者等が協働して水田を保全する取組に対し支援するほか、用水路の保全管理に向けた末端水路の機能診断を実施いたします。その他、農業用排水施設や農道補修などの農業基盤施設の整備や保全を実施する「小規模土地改良事業」では補助率の拡充を図るなど、農業基盤整備事業の一層の促進につなげていく所存です。

農業基盤整備に関する要望やご意見等がございましたら、何なりとご相談いただければ幸いです。

結びに、本年度が皆様にとって実り多い一年となりますことを祈念するとともに、引き続きのご指導・ご協力をお願い申し上げます。

令和8年度農業基盤整備関係予算の概要（東京都）

1 田んぼ復活プロジェクト：25,000千円（新規）

- “東京の田んぼ”を保全するため、都民との協働により、水田、用水路を活用・保全する取組を支援する。
- 用水路の保管理の基礎となる機能診断を実施する。

1. 田んぼ協働活用組織支援 都民と農業者等が協働で田んぼの保全に取り組む団体に対し、活動に係る費用を補助（3年間定額補助）	
対象者	協働活用組織（区市町村・農業団体・農業従事者）
補助金額	1年目：300万、2年目：250万、3年目：200万
対象規模	5地区
2. 用水路機能診断（委託先：東京都土地改良事業団体連合会） 用水路の老朽化状況や補修の必要性等を把握するための調査を実施し用水路の保管理に向けた基礎資料を収集	
調査対象	田んぼを協働活用する地区



イメージ例



2 小規模土地改良：195,405千円

- 国庫補助事業対象外の小規模な土地改良事業に対して支援を行い、地域の実状に即した整備、営農体系の合理化を図るとともに、農業生産性の向上に資する。

対象者	区市町村、土地改良区、農協等	支援内容	①農業用排水施設整備
対象地域	都内全域		②区画整理
採択要件	事業費2,000千円以上		③農道整備
受益戸数	2戸以上		④調査設計
<p>農道整備（大島町 泉津農道）</p>		補助率	⑤災害復旧事業査定設計書の作成
			①②③1/2（農業振興地域・特定農山村地域・離島：3/4） （地域計画策定済かつ農地集約化等に資する事業：4/5 拡充）
			④2/5（農業振興地域・特定農山村地域・離島：1/2） （地域計画策定済かつ農地集約化等に資する事業：4/5 拡充）
			⑤3/4

3 水土里保全活動支援事業：14,944千円

- 農業用水路や農道を保全する地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保管理により、農業・農地の有する多面的機能の維持・向上を図る。

対象者	活動組織（区市町村が間接補助事業者）、区市町村、土地改良区等		
補助率	地域活動支援（農地維持）	資源向上活動支援	水路浚渫支援
	地域活動支援（水路維持）	：国1/2・都1/4・区市町村1/4	：都3/4・区市町村1/4
①地域活動支援 農業用水路や農道などの維持管理へ支援 ・農地維持、水路維持 法面の草刈や農道の路面維持など	水路の草刈	②資源向上活動支援（共同活動） 農業用水路や農道などの質的向上に向けた取組を支援 施設周辺の草刈や水路の泥上げ、学校教育との連携など	水路沿い花壇の植栽
③資源向上活動支援（長寿命化） 農業用水路や農道などの長寿命化に向けた取組を支援 老朽化が進む施設の補修や更新	水路の補修	④水路浚渫支援 請負施工による農業用水路の浚渫支援	水路の浚渫

4 農業基盤 DX 推進事業：237,154 千円

地理情報システムを活用した島しょ農業基盤 DX 推進事業

➤ 地理情報システム（GIS）を導入することにより、農業基盤施設の高度管理を推進し、更新時期を迎えた施設の適切な管理と災害発生時などの緊急時における適正かつ迅速な対応を可能とする。

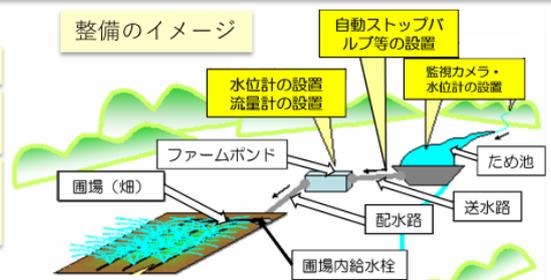
対象者	伊豆諸島各町村
補助率	4/5
支援内容	農業基盤施設に関する位置情報のGISデータ化
効果	<ul style="list-style-type: none"> 農業基盤整備の一元管理が可能 効率的で計画的な維持管理・更新が可能 災害時の被災規模や被害想定額の迅速な把握



DX による農業基盤の防災力強化

➤ 市町村等が取り組むデジタル技術を活用したかんがい施設の整備を支援し、貴重な水資源の適正管理、災害の未然防止、管理者の移動時間等の負担軽減を図る。

対象者	市町村
補助率	①防災重点農業用ため池：10/10 ①以外：8/10
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 〇遠隔・遠方監視設備の整備 〇水位計、監視カメラ、自動ストップバルブ等の設置
効果	<ul style="list-style-type: none"> 〇漏水の早期検知時、台風等の非常時にも迅速かつ安全に取水停止措置等の対応が可能 〇日常点検や施設の開閉操作時の移動時間の負担の軽減



5 土地改良：287,581 千円～基盤整備促進、地域農業水利施設ストックマネジメントほか

農道及びびかんがい施設等の農業基盤の整備を行い、地域の実状に応じた農用地の高度利用による農業生産性の向上を図る。



基盤整備促進事業
農道整備（八丈町・河尻地区）

6 農地防災：281,233 千円～ため池整備、用排水施設整備、農業用河川工作物応急対策

農地及び農業用施設における災害の発生を未然に防止するための工事を行う。

7 未来に残す東京の農地プロジェクト：561,070 千円

農的利用に向けて区市町村が公有地を農業公園等に整備する取組や、農家が所有するアパート等を農地に転換する取組、農地の多面的機能を発揮させる取組等に対し支援する。

第69回（令和7年度）通常総会の開催

東京都土地改良事業団体連合会第69回通常総会が、令和8年2月19日に立川市の東京都農業振興事務所会議室で開催され、令和6年度事業報告及び収支決算、令和7年度上半期中間報告及び補正予算、令和8年度事業計画及び収支予算、役員^{ひがしとおる}の補欠選任など13議案について審議し、全会一致で可決承認されました。

開会にあたり、山下会長は、昨年の台風22・23号による農業基盤の被害に対し、迅速に対応していただいた農林水産省や東京都をはじめとした関係機関に感謝を述べるとともに、「農業基盤整備の専門機関として、会員の土地改良区や市町村の皆様へ、技術支援などの質の高いサービスを提供することで、各地域の農業振興に貢献してまいります。」と挨拶しました。



山下会長挨拶

ご来賓の農林水産省 石井関東農政局次長様、東京都産業労働局農林水産部 河野農業基盤整備担当課長様からは、お祝いと激励のご挨拶を賜りました。

令和8年度事業計画については、「老朽化した農道や農業用水施設の更新・長寿命化、また、その維持管理や災害の防止・復旧を迅速・効率的に進めるためのデジタル化などの諸課題に対応するため、土地改良法改正などの国の動きも踏まえながら、東京都並びに会員と連携し、農業生産基盤の整備を着実に進めるほか、広報活動の充実などによりサービスの向上に努める。」こととしました。

本総会では、役員2名の補欠選任が行われ、新たに東^{ひがしとおる} 亨日の出町長と天野^{あまのまさし} 雅之五日市土地改良区理事長が選任されました。令和8年4月1日から令和10年3月31日までの役員体制は表のとおりです。

役員体制

役職	氏名	所属団体・役職
会長	山下 奉也	八丈町長
副会長	中嶋 博幸	あきる野市長
常務理事	内田 敏夫	学識経験者
理事	東 亨	日の出町長（新役員）
理事	佐々木 宏	青ヶ島村長
理事	福島 久夫	日野用水土地改良区理事長
代表監事	北島 薫	府中用水土地改良区理事長
監事	天野 雅之	五日市用水土地改良区理事長（新役員）

令和7年度事業実績の事例紹介

当連合会では、令和7年度に東京都や会員土地改良区・市町村から調査・測量設計等の業務を33件受託しました。今回は、このうち4件をご紹介します。

◎ 小規模土地改良事業 泉津地区農道整備実施設計 実施主体：大島町

本地区の農地は防風林に囲まれ、アシタバ等の露地野菜が栽培されています。しかし、農道は幅員が狭く未舗装のため、耕作車両等の通行が困難で営農に支障がありました。

そこで、令和5年度から3か年で農道約450mを整備することとし、7年度に完了しました。

当会では実施設計を担いました。



整備された泉津農道



施行前の泉津農道

◎ 地域農業水利施設ストックマネジメント事業 八重間パイプライン改修工事実施設計 実施主体：三宅村

本水利施設は坪田地区の約13haの農地に水を供給し、アシタバやパッションフルーツ等が栽培されています。しかし、整備後45年が経過し機器故障や漏水事故等が発生していることから、令和元年度から改修を行っています。

7年度は、貯水槽から農地に水を送るパイプライン整備の実施設計を行いました。



農地に水を送るパイプラインの敷設工事



水源から貯水槽に水を送るポンプ

◎ 基盤整備促進事業 大賀郷地区畑地灌漑施設改修工事実施設計・現場監督員補助 実施主体：八丈町

本地区は、花き・観葉植物を中心に約35haの農地があります。近年は施設化や新規就農の増加等により水の安定供給が求められる一方、水利施設は整備後40年以上が経過し、経年劣化が進んでいます。

このため、7年度は、パイプライン等の整備のための実施設計と工事監督補助を行いました。



貯水槽に水を送るパイプラインの敷設工事



水源の井戸とポンプ小屋

◎ 土地改良区運営基盤強化推進研修 実施主体：全土連

土地改良区の運営基盤強化を目的に、11月17日、立川市子ども未来センター会議室で本研修を実施しました。

全土連から講師をお招きし、土地改良区の業務・運営、会計経理、経営診断手法、地域との連携などについて学びました。



業務・運営について意見交換



会計経理の講義

第47回（令和7年度）全国土地改良大会 佐賀大会

令和7年10月15日、第47回全国土地改良大会佐賀大会が、全国の土地改良関係者等約4,600名が参加し、佐賀県のSAGAアリーナで開催されました。今回のテーマは、「水を利用して土を活かす さがで語ろう 郷里の未来」。東京からは、当会をはじめ6名が出席しました。

佐賀県土地改良事業団体連合会長の開会挨拶、全国土地改良事業団体連合会長の主催者挨拶、佐賀県知事等の歓迎の言葉、来賓祝辞に続き、土地改良事業功績者表彰、基調講演、事例発表が行われ、最後に、「いまこそ私たち水土里ネットが力を合わせ、互いに支えあい、国民共有の貴重な財産である「水・土・里」を次の世代に引き継いでいく」と大会宣言をしました。



二階全土連会長の挨拶



土地改良事業功績者表彰

10月16日は、参加者が各コースに分かれ、佐賀県内の農業水利施設や大規模園芸団地などを視察しました。当会は、佐賀平野の農地を潤す取水施設である「佐賀揚水機場」を視察しました。

施設管理者は独立行政法人水資源機構で、昭和56年から平成9年度に整備されました。筑後川から水を取り入れ、巨大なポンプで高さ約28mの吐水槽に送られます。そこから自然流下で約34,800haもの農地に水を供給しています。最大で18.6 m³/sを揚水し、パイプラインは延長約22km、最大口径は3.0mです。



場内のポンプ設備



吐水槽

第48回（令和8年度）全国土地改良大会 奈良大会

～奈良大会に皆様のご参加をお待ちしております～



刀根早生柿



いちご狩り(明日香村)



正暦寺(清酒造り)



古都華



第48回全国土地改良大会

奈良大会 2026年11月17日(火)



開催趣旨 「はじまりの奈良 これからの奈良」

日本の古代国家の基盤となった奈良。太古の昔から、先人たちは土地を拓き、水を治め、稲作を展開し、安定した収穫を確保する努力をしてきました。私たちは、これを大切に引き継ぎ、これからも土地改良で、この美しい「奈良の水土里」を次世代に繋げ、発展させていくことが責務であると考えています。私たちは「第48回全国土地改良大会奈良大会」を「農業・農村の重要性」と「農業農村整備が果たす役割」を改めて認識する機会と捉え、全国からご参集いただいた土地改良事業関係者のみなさまと共に、農業の将来を見据えた土地改良の大切さを「日本のはじまりの地」「奈良」から発信します。

大会テーマ

『きれいな水』『豊かな土地』『美しいふる里』水土里が育てる まほろばの奈良

会場

奈良県コンベンションセンター

〒630-8013 奈良県奈良市三条大路1丁目691-1



東大寺大仏殿



三輪素麺(天日干し)



吉野山千本桜



石舞台古墳(明日香村)



そば畑(桜井市笠)



洞川温泉街(天川村)

奈良県土地改良事業団体連合会

〒634-0033 奈良県橿原市城殿町 459

TEL 0744-29-1323 FAX 0744-29-1312

E-mail: 48taikai@naradoren.or.jp

詳しくはホームページをご覧ください

奈良大会特設ホームページ

https://www.naradoren.or.jp/event



「農業農村整備の集い」の開催

令和7年11月26日（水）に砂防会館別館「シェーンバッハサボー」（千代田区永田町）において、全国土地改良事業団体連合会主催による「農業農村整備の集い～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて」が、約1,200名の土地改良関係者が全国から集い開催され、以下の農業農村整備に関する要請書が全会一致で採択されました。

要請書（要約）

- 1 食料・農業・農村基本計画や土地改良長期計画に基づき初動5年間で農業の構造転換を集中的に実施するとともに、国土強靱化実施中期計画に基づく取組を一層推し進めるため、土地改良事業をスピード感を持って推進できるよう、別枠を含めた必要な予算を確保
- 2 土地改良法の改正を受け、制度の趣旨及び内容を十分に浸透
また、水土里ビジョンの作成を始めとする農地・農業用水等の地域資源を次世代につなごうとする土地改良区や土地改良事業団体連合会、市町村等の取組への支援や地方財政措置の充実
- 3 国内の農業生産の増大と食料自給力の確保のため、地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化、高収益作物の生産拡大、麦・大豆等の本作化、スマート農業の導入やほ場周りの管理の省力化を促し生産性向上に資する大区画化、中山間地域におけるきめ細かな整備等の農地整備と情報通信環境の整備を推進
- 4 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止のための取組を早急に進めるとともに、農地復旧についての農家負担を軽減。併せて、基幹から末端までの農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を推進
- 5 高い公共性・公益性を有し、食料安全保障に貢献している土地改良施設の維持管理への支援を充実
- 6 多面的機能支払いや中山間地域等直接支払について、更なる制度の拡充及び必要な予算の確保
- 7 ICT、AI等を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進するとともに、中小規模の土地改良区の合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進
- 8 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮



二階全土連会長の挨拶



鈴木農林水産大臣の祝辞

令和7年台風第22・23号による農業被害

昨年10月の台風第22・23号は、八丈町と青ヶ島村を直撃し甚大な農業被害をもたらしました。

特に、八丈町の被害が大きく、被害総額は16億2千万円にのぼりました。このうち、観葉植物などの農作物が3億8,800万円、パイプハウス等の栽培施設が8億7,700万円、農地や農道等の農業基盤が3億円でした。

当会では、八丈町や東京都と現地調査を行うとともに、被害を受けた農道や排水路、農地などの農業基盤について災害査定設計書を作成しました。12月には、査定官（農林水産省）と立会官（財務省）により現地で災害査定が行われ、補助対象範囲や災害復旧事業費が決定しました。今後も町の復旧支援に努めていきます。



農業基盤施設の被害状況調査



災害査定の様子

農業農村整備に関する意見交換会の開催

令和7年11月10日、農林水産省農村振興局及び関東農政局、東京都農林水産部及び農業振興事務所、都内土地改良区、水土里ネット東京による農業農村整備に関する現地調査と意見交換会が開催されました。

現地調査では、奥多摩町のご協力のもと、国の新山村振興等農林漁業特別対策事業により整備し、平成19年に開園した滞在型の「おくたま海沢ふれあい農園」(クラインガルテン)や、東京都交通局が整備した、多摩川上流の白丸ダムを魚が迂回して遡上できる、落差27m、長さ331mの魚道、令和元年度の台風19号で被災したわさび田やモノレールの復旧状況を視察しました。このあと、現地調査も踏まえ、今後の東京における農業農村整備について意見交換を行いました。



奥多摩クラインガルテン



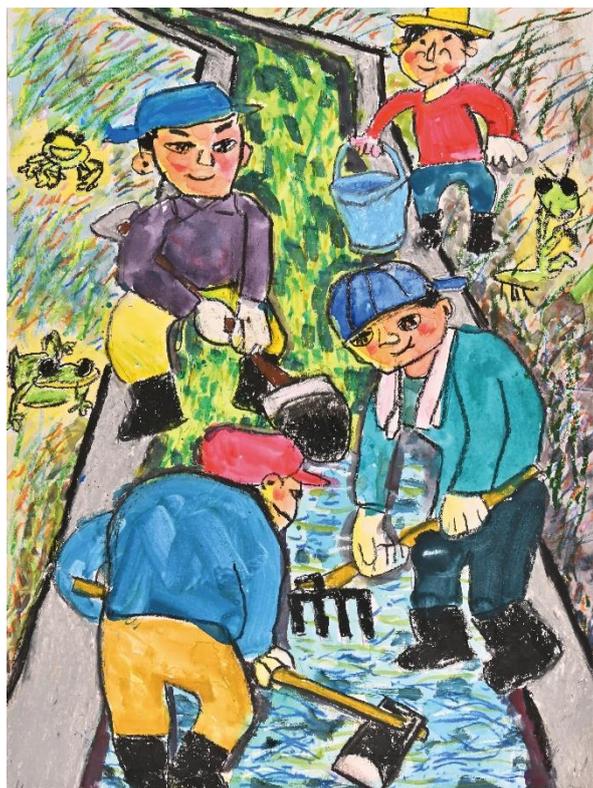
白丸ダム魚道

「未来へつなごう！ふるさとの水土里」子ども絵画展 2025

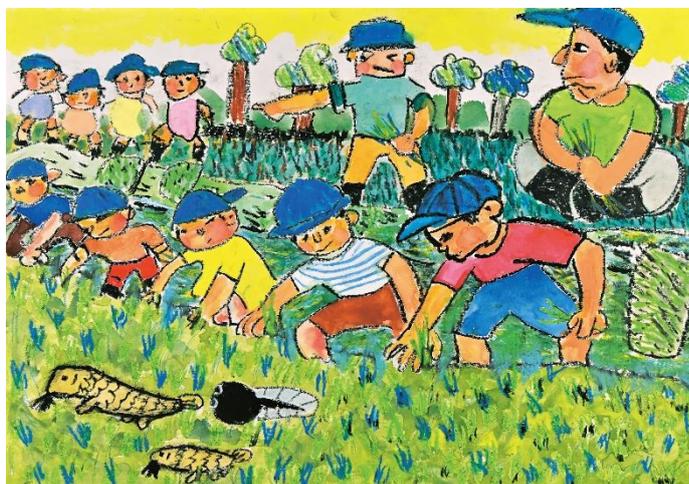
- ▲日時・場所：令和7年12月4日～11日 上野 東京都美術館
- ▲主催：全国土地改良事業団体連合会 都道府県土地改良事業団体連合会
- ▲目的：子どもたちに農業・農村に関心をもってもらい、全国各地の農の風景や農業に携わる人々の姿を通じて、広く国民の皆様に農業への理解を深めていただくことを目的としています。
- ▲応募の結果：全国から2,625点のご応募をいただき、農林水産大臣賞等特別賞6点、協賛企業・団体賞27点、水土里ネット賞56点、入選141点、佳作170点が選ばれました。
東京からは特別賞1点、協賛企業・団体賞1点、水土里ネット東京会長賞1点、入選13点、佳作9点が選定されました。

【協賛企業・団体賞 NTC夢きり賞】

【特別賞 水の路賞】



「おいしいお米は水路から」
中央区立月島第三小学校 5年
中川 香子 さん



「どじょうやおたまじゃくしが道しるべ」
中央区立月島第三小学校 2年
中川 香菜 さん

【水土里ネット東京 会長賞】



「谷保のみどり」
国立市立国立第七小学校 4年
古関 智子 さん

【入選】



「ぼくも生き物も大好きな田んぼ」
未就学
若林 永真 さん



「矢川の川ママ下ゆう水」
国立市立国立第七小学校 4年
秋山 朝哉 さん



「多摩川の風けい」
国立市立国立第七小学校 4年
木村 颯太 さん



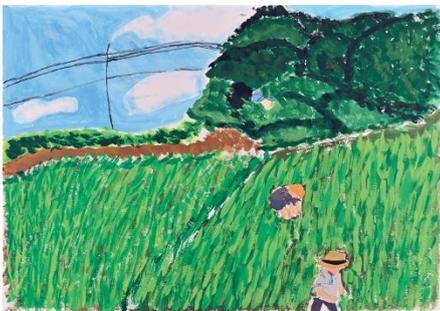
「田んぼと太陽」
国立市立国立第七小学校 4年
菅谷 巴 さん



「きれいな田んぼ」
国立市立国立第七小学校 4年
苔米地 蒼惟 さん



「えだ豆」
国立市立国立第七小学校 4年
榊田 輝 さん



「晴れた田んぼ」
あきる野市立東秋留小学校 5年
斉藤 羽奈 さん



「たんぼとんぼたんぼ」
羽村市立西小学校 5年
高岡 栞 さん



「黄金色に光る稲」
あきる野市立東秋留小学校 5年
並木 璃奈 さん



「未来に残したい田んぼ」
あきる野市立前田小学校 5年
間部 結斗 さん



「トウモロコシ畑を支える人々」
あきる野市立前田小学校 5年
森田 涼介 さん



「田んぼがある秋の日」
あきる野市立東秋留小学校 5年
柳村 玖泉 さん



「田植え」
あきる野市立東秋留小学校 5年
吉村 風夏 さん

【佳作】



「みんなで田植え」
あきる野市立東秋留小学校 5年
有吉 柁夏 さん



「田んぼの草原」
あきる野市立東秋留小学校 5年
井上 美咲 さん



「未来につなぐ田んぼ」
あきる野市立前田小学校 5年
宇田川 佳紗 さん



「みどりの苗」
あきる野市立前田小学校 5年
塩谷 怜治 さん



「大自然にめぐまれた田園」
あきる野市立東秋留小学校 5年
島田 桜空 さん



「かかしと田んぼ」
あきる野市立前田小学校 5年
高橋 柚羽 さん



「田んぼのある風景」
あきる野市立東秋留小学校 5年
武内 大晴 さん



「あの日 あの時・・・心がゆれた・・・」
あきる野市立東秋留小学校 5年
田野倉 璃 さん



「ふるさと、あきる野市の前田小学校の田んぼ」
あきる野市立前田小学校 5年
官川 夏幸 さん



みどり
水土里ネット

地域で守ろう豊かな自然

〔表紙の写真〕

上段 左：羽村市 チューリップまつり、中：八王子市 高月用水、右：国立市 古民家

中断 左：青梅市 乙黒用水、中：青ヶ島村 黒毛和牛放牧場、右：八丈町 フェニックス・ロベレニー

下段 左右：あきる野市 秋川ファーマーズセンター

発行元

東京都土地改良事業団体連合会
〒190-0022 東京都立川市錦町3丁目12番地11号

TEL：042-548-0371 FAX：042-548-0375
URL：<https://www.midorinet-tokyo.or.jp>